茶　室　の　し　お　り

茨城県立歴史館
〒310－0034　水戸市緑町2－1－15
TEL　029－225－4425　FAX　029－228－4277

1　利用申込方法

(1)申込方法

施設使用申込書(裏面)により、あらかじめ申し込みください。(郵送、FAX可)

(2)休館(室)日

月曜日(祝日の場合はその翌日。)、年末年始(12月29日～1月1日)、整理期間

(3)申込先

管理部管理課

2　利用時間及び使用料

名　称	区　分	午　前	午　後	全　日
		8:30～12:00	13:00～17:30	8:30～17:30
無　庵	全　室	4,660 円	6,140 円	10,800 円
	茶席又は広間	3,070 円	4,660 円	7,730 円
双宜庵	全　室	4,660 円	6,140 円	10,800 円

3　茶室使用については、館職員の指示などをよくお守りください。

4　本館内の展示を観覧する場合は、入館料をいただきます。

5　その他ご不明の点は、館職員にお尋ねください。

付属備品一覧(無料貸出)

備品名	風炉釜	炉釜	水指	建水	風炉先屏風	水注やかん	箱炭斗
無庵	2	2	2	1	2	2	1
双宜庵	2	1	1	4	1	1	1

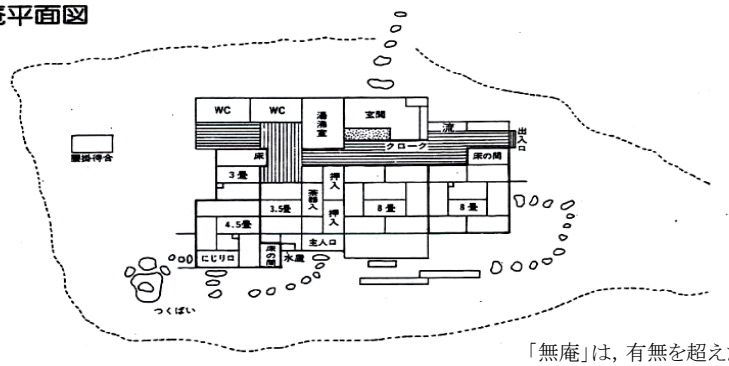
備品名	水屋がめ	茶巾たらい	敷瓦	敷板	柄杓	釜敷	釜底洗い
無庵	1	1	1	1	3	4	3
双宜庵	1	1	0	1	0	2	1

備品名	円座	露地草履	自在	花台	毛せん	灰さじ	火ばし
無庵	13	11	1	0	8	1	2
双宜庵	0	0	0	2	8	1	1

備品名	座卓	アルマイトやかん	台付十能	火起こし			
無庵	6	2	2	1			
双宜庵	2	2	0	0			

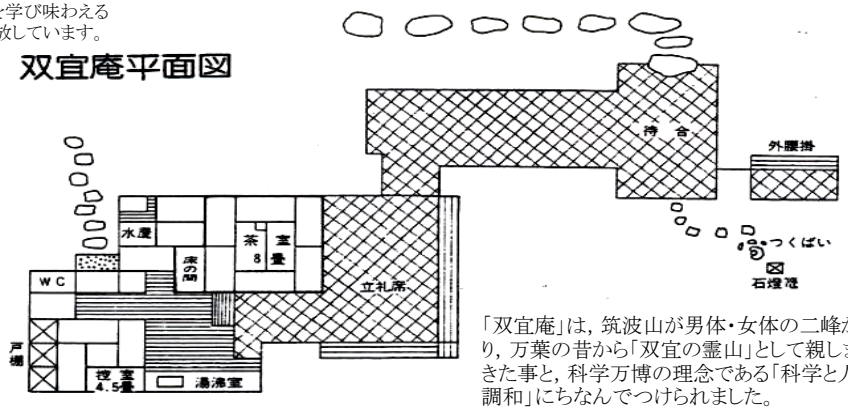
茶室「無庵」は自然の傾斜地に清水が流れ，灌木林の四時野鳥が集まるなど自然味の深い庭園に歴史館の付属施設として建てられています。また，無庵に接して，科学万博で世界の人々から親しまれた茶室「双宜庵」が昭和62年3月移築されました。
多くの人々に親しまれてきた茶の湯を学び味わえることのできる施設として，広く県民に開放しています。

無庵平面図



「無庵」は，有無を超えた絶対的なものを，この茶室の活用を通して得ることを願ってつけられました。

双宜庵平面図



「双宜庵」は，筑波山が男体・女体の二峰からなり，万葉の昔から「双宜の霊山」として親しまれてきた事と，科学万博の理念である「科学と人間の調和」にちなんでつけられました。